施工説明書

TOTO

洗面所用シングルレバー混合栓　TL385U型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

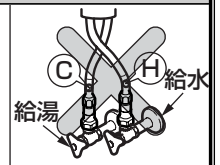
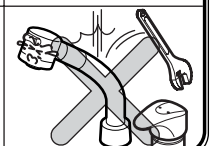
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

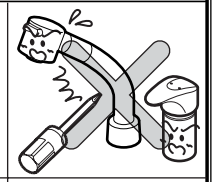
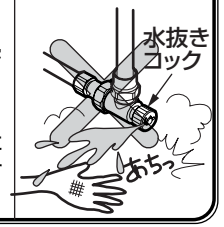
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🛇	してはいけない「禁止」内容です。
🛇	分解しないでください。
❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注　意

禁　止	**湯水を逆に配管しないでください。** 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	商品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	

⚠ 注　意

分解禁止	**修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解・改造しないでください。** 故障や水漏れの原因になります。	
必ず実行	**凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部に保温材を巻いてください。また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。** 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
禁　止	寒冷地用 **水抜きコックは水抜き以外の目的で開けないでください。** 水抜きコックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅洗面所用

3 取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、 0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

●湯ぽっと（TOTO製洗面所用電気温水器）と組み合わせる場合は、電気温水器入口への最低給水圧力が0.1MPa以上必要です。
給水圧力が低いと吐水量が不足し、水の勢い（シャワー吐水、ソフト吐水）が十分に得られません。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

●シャワーホースを伝わって水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。水受けトレイを必ず設置してください。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

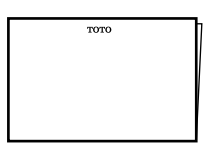
次の部品があることを確認してください。

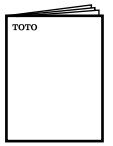
水栓本体部	ハンドシャワー部

レバーハンドル
給湯パイプ
通水管
給水パイプ
ソケット
(一般地用のみ逆止弁付き)
水栓本体

ハンドシャワー
切り替えスイッチ
スパウト
ストッパー
パッキン
パッキン
エルボ
パッキン
ホース
水抜栓
(寒冷地用のみ)

そ の 他


施工説明書

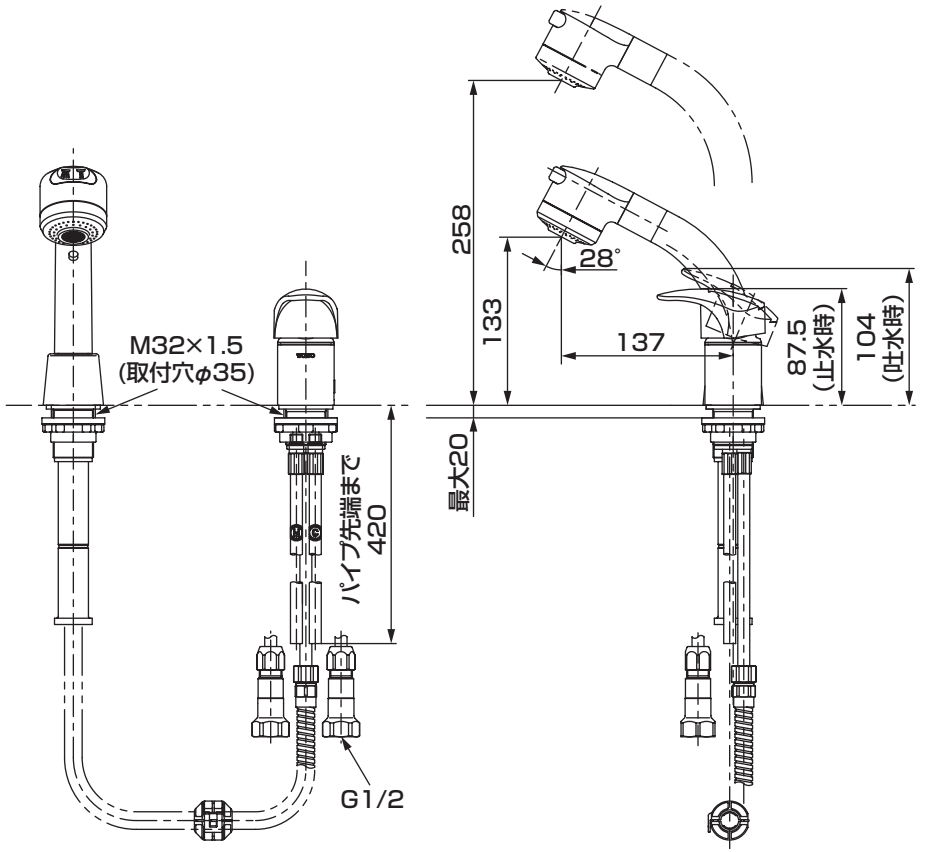

取扱説明書

シャワーホース
取り付け注意札

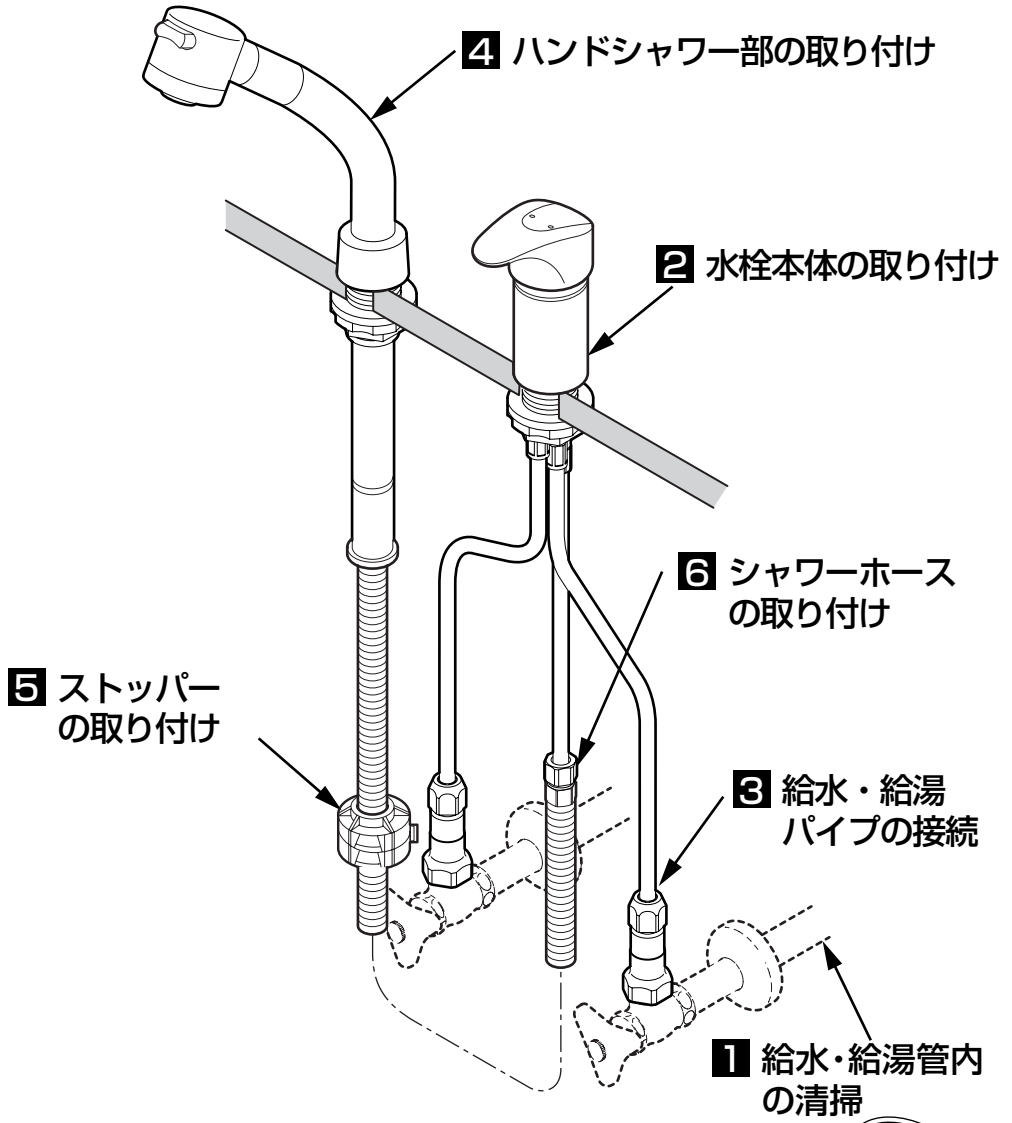
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



6-1 施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 水栓本体の取り付け

①取付穴周囲の汚れを取る。

②給水・給湯パイプ、通水管にパッキン（黒）、スリップワッシャー、ナットを通し、水栓本体が正面を向くように仮固定する。

③給水・給湯パイプを止水栓の取り出し位置に合うように曲げて広げる。

注　意

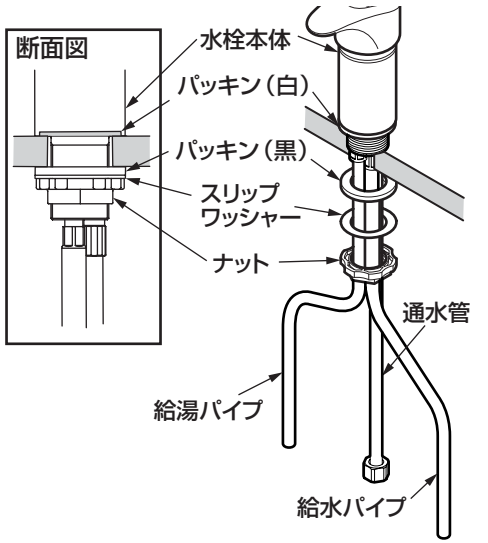
できるだけ直管部が長くなるようにしてください。
また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。

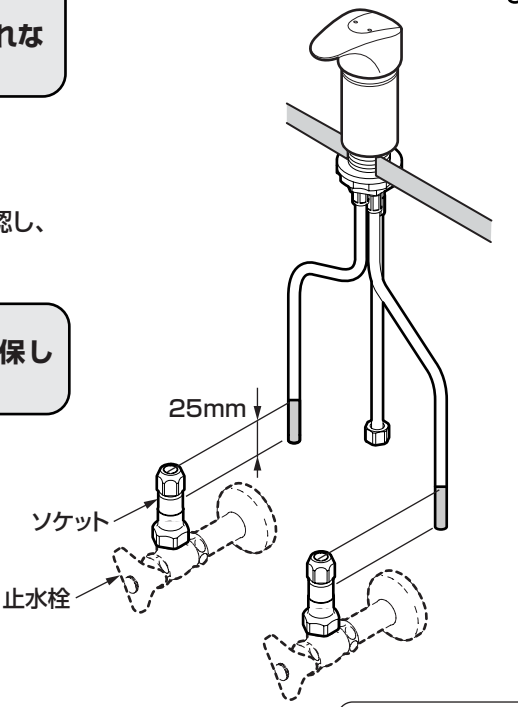
④ソケットを止水栓に固定する。

⑤給水・給湯パイプの必要長さを確認し、切断する。

注　意

パイプの差込代は約25mm確保してください。





裏面へつづく

3 給水・給湯パイプの接続

①給水・給湯パイプに 袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキン の順に入れる。

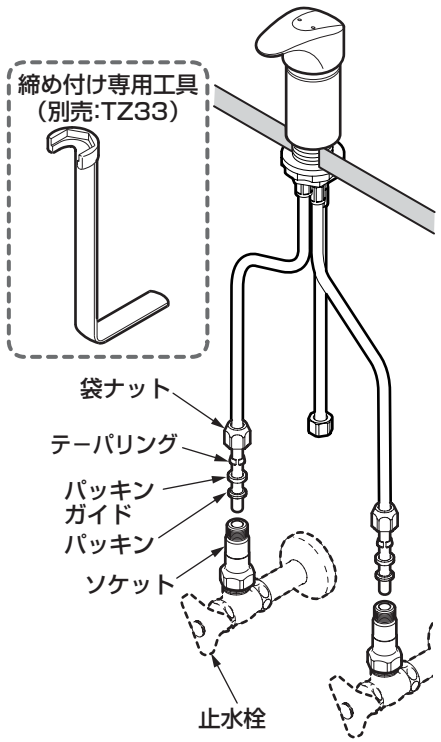
②一旦、水栓本体の仮固定を外して持ち上げ、給水・給湯パイプをソケットに十分に差し込む。

③水栓本体を本固定する。

注　意

●水栓全体が取付穴の中心にくるように固定してください。

●固定には別売の締め付け専用工具（TZ33）を利用して確実に締め付けてください。



④パッキンをパッキンガイドに入れ、ソケットに押し付け、手締めで袋ナットを締め付ける。

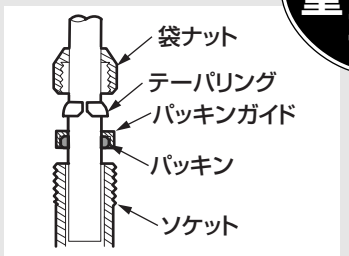
⑤さらに工具で1回転以上締め付ける。

注　意

●給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。水漏れのおそれがあります。

重要



4 ハンドシャワー部の取り付け

①取付穴周囲の汚れを取る。

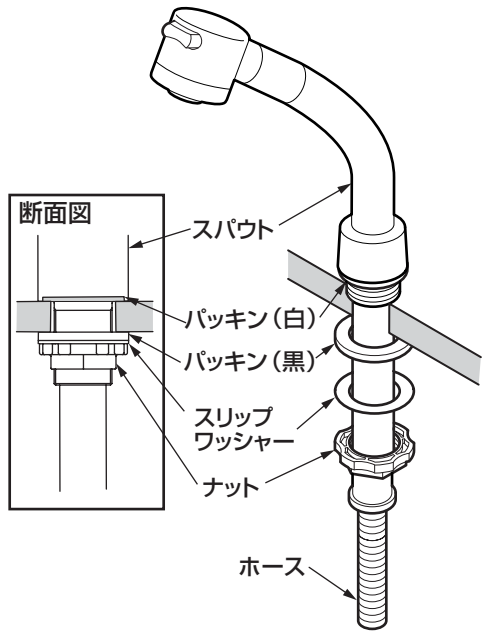
②パッキン(白)のセパレート紙をはがす。

③ホースにパッキン（黒）、スリップワッシャー、ナットを通し、スパウトを本固定する。

注　意

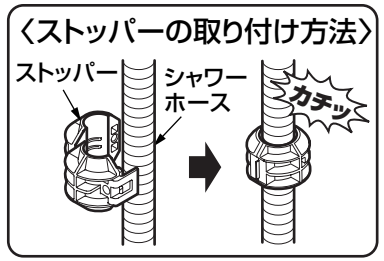
●ハンドシャワー部が取付穴の中心にくるように固定してください。

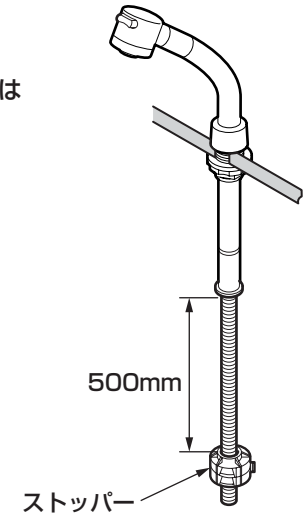
●固定には別売の締め付け専用工具（TZ33）を利用して確実に締め付けてください。



5 ストッパーの取り付け

右図の位置にストッパーをパチンとはめ込む。
※ホースを引き出したとき、ゆとりがない場合は適当にずらしてください。





6 シャワーホースの取り付け

⚠ 注　意

禁　止

シャワーホース側のナットは絶対に回さないでください。

シャワーホースがよじれて、水漏れの原因となります。

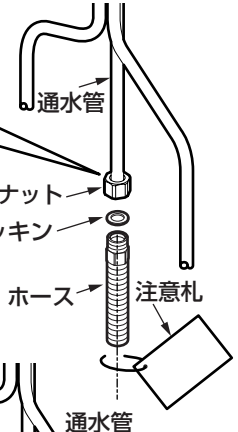
一般地用の場合

通水管にシャワーホースを接続する。

注　意

- **同梱の「シャワーホース取り付け時の注意」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。**
- **パッキンをなくさないように注意してください。**

シャワーホース接続時は、通水管側の袋ナットを回して、シャワーホースを接続してください。



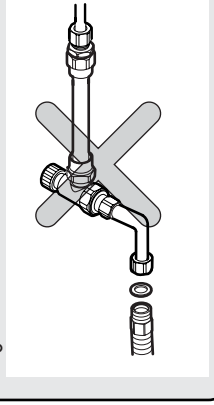
寒冷地用の場合

①シャワーホースを水抜栓に接続する。

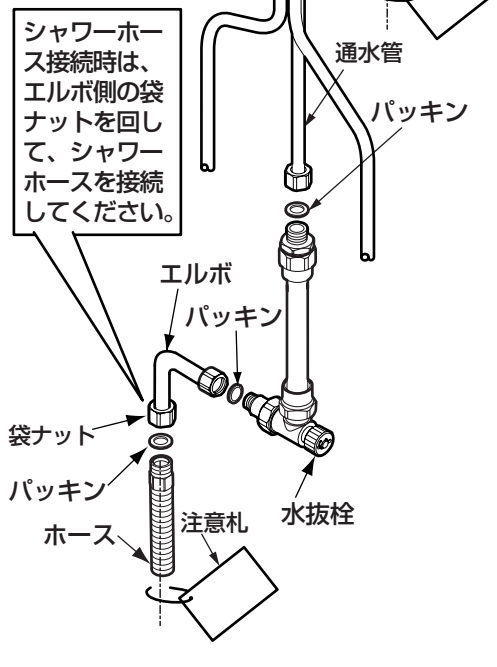
②通水管に水抜栓を接続する。

注　意

- **シャワーホースの水抜栓の取り付け方向に注意してください。**
- **同梱の「シャワーホース取り付け時の注意」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。**



シャワーホース接続時は、エルボ側の袋ナットを回して、シャワーホースを接続してください。



7 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、故障ではありません。
お客様に十分ご説明ください。

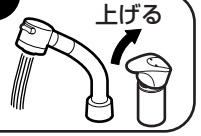
現　象	説　明
使いはじめにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水出し確認

配管部の元栓を開け、
ハンドシャワーから水が
出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶ 給水・給湯ホースとソケット、止水栓とソケットはしっかり取り付けられていますか?

→ 6-2 ― 3「ワンタッチソケットの取り付け」参照

❷ シャワーホースは通水管に確実に締め付けられていますか?

→ 6-3 ― 6「シャワーホースの取り付け」参照

寒冷地用の場合

❸ 水抜きコックは、しっかり閉まっていますか?

→ 6-3 ― 6「シャワーホースの取り付け（寒冷地用の場合）」参照

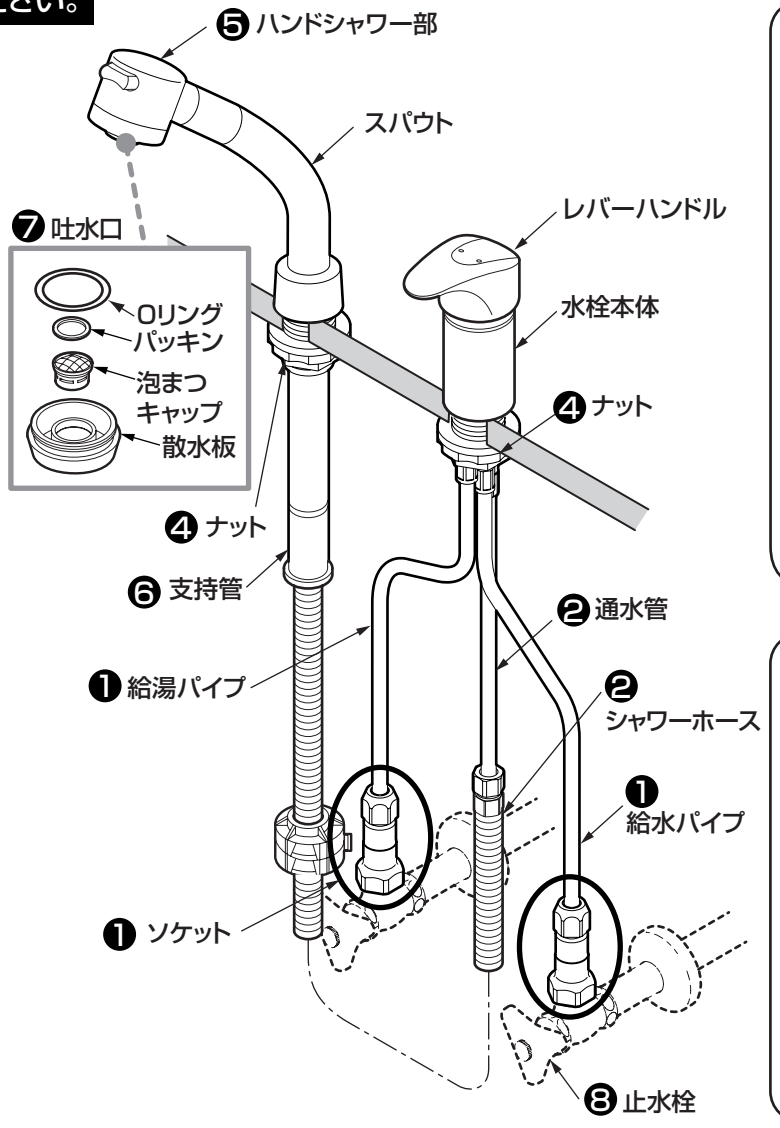
ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❹ 水栓本体およびハンドシャワー部のナットは確実に締め付けていますか?

→ 6-2 ― 3「給水・給湯パイプの接続」参照

→ 6-2 ― 4「ハンドシャワー部の取り付け」参照



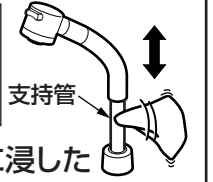
動作確認

ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか、またスパウトがスムーズに上げ下げできるか確認してください。

❺ ハンドシャワーは洗面ボールの先端付近まで引き出せますか？

→ シャワーホースが止水栓や排水金具に干渉していないか確認する。

❻ 支持管がきちんと上げ下げでき、固定できますか？



→ 水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、支持管を拭く。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❼ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

→ 吐水口の掃除をする。

❽ 止水栓は開いていますか？

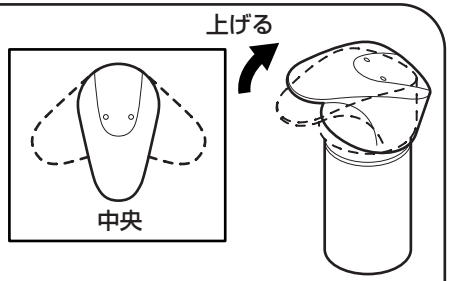
→ 止水栓で流量を調節する。

9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1.配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開ける。

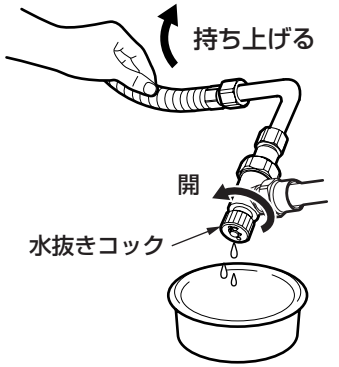
2.レバーハンドルを中央位置で上げる。



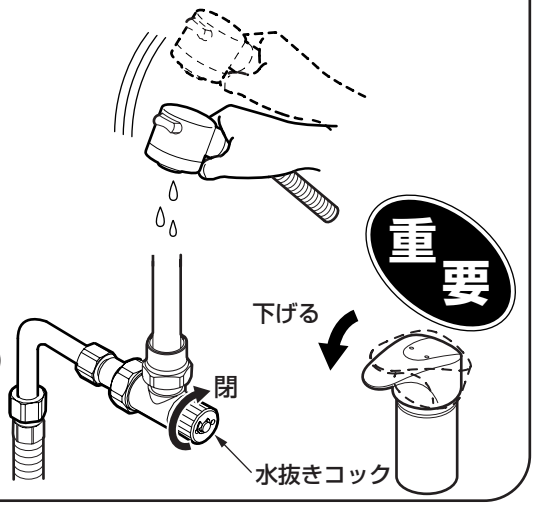
3.ハンドシャワーをストップするまで引き出す。

4. 水抜きコックの下に水受け容器を用意し、水抜きコックを開ける。

5. シャワーホースを持ち上げ、ホース内の水を抜く。



6.ハンドシャワーをよく振って水を切ってから洗面器の底に置く。



水抜き完了後は、必ず水抜きコックを閉め、レバーハンドルを下げる。（水が出ない状態）

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。